

待34

410

宗園、公私必要文章
全



明治九年九月開彫

宗國夫著
月疇散史校



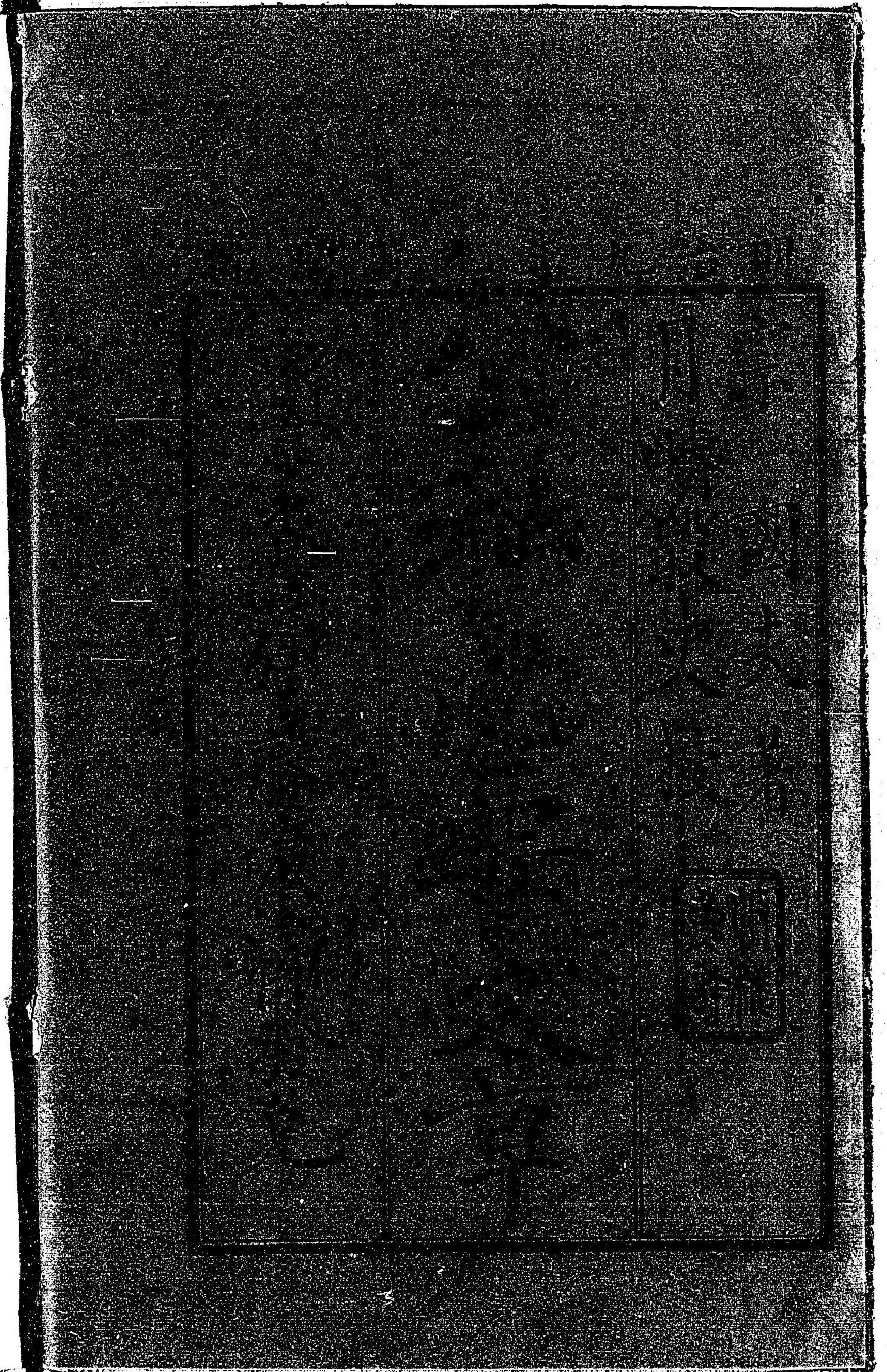
公私必要文章

東京書林伊藤岩次郎發兌

墨池



特34
410



不
待

華
者

書
寫
自
在

四
静
書
寫

山
標
相
露

公私必要文章目錄

明治九年圖書局發行

新年諸願公達願問合之文

右之答文

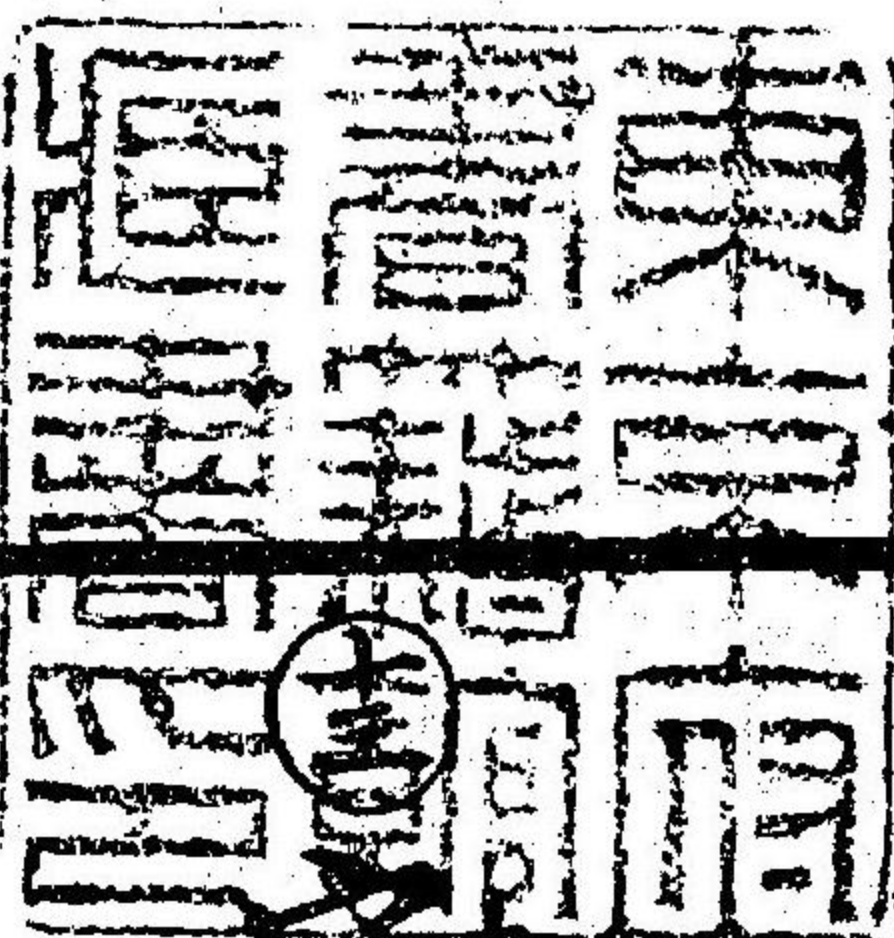
小学校入学願問合之文

并小学校規則の概畧

右之答文

私立塾開業願問合之文

并私立小学校規則の概畧



④ 洋行請入頼之文

并願書之案文

右ノコトハ

⑤ 出板條例問合之文

并同條例規則

右ノコトハ

⑥ 電信照方問合之文

并右ノ関スル諸例規則

右ノコトハ

⑦ 貫属替問合之文

右ノコトハ

并右ノ関スル書式

右ノコトハ

⑧ 婚禮風物并送籍問合之文

并縁組系般の規則

右ノコトハ

⑨ 金子借用催促之文

并書入質印税規則

右ノコトハ

⑩ 郵便為換問合之文

并郵便規則

右ノコトハ

⑤ 隱居家督願向令之文

并地券書替出之例規

有之

⑥ 淺草文庫書籍借免誘引之文

并借免規則之略

有之

⑦ 陸軍士官学校入学向令之文

并右ノ諸事ノ下書き

有之

⑧ 徵兵免役向令之文

イシキヨカトク子ガヒ

チケケンカキカハ

センサウブンコレヨジヤクシヤクレン

キソク

シクワンガクカウラガク

シヨテ

テウハイメシエキトヒアハセ

并代人料之方書式

有之

⑨ 代理人委任状書式向令之文

同書式并訴訟用筆紙之規則

有之

⑩ 荷物送状向令之文

并内出通運之規則

有之

⑪ 逃込入届方向令之文

并右ノ関事ノ諸規則

有之

ガイニシレウ

ガイリニシイニシテ

ヲナシクシヨシキ

モツラクルデウ

ナイコクツウケン

バウニシトケカタトヒアハセ

ミギ

サレダシカタノシヨシキ

シヨシキトヒアハセ

ツシヤウヨウケイ

キソク

キソク

シヨシキソク

シヨシキソク

① 産業雑誌札願問合々々々

ナラビニミギノシヨシキ
并右ノ書式

ミギノコタヘ

② 盗難は届書式

③ 附 小學作文尺牘早引

此ニハ尺牘作文等ニ必
用ノ文字ヲ多ク集メ其
音訓ヲ施シ類ヲ分チテ見出シヤスクシ名バ
作文ノ時ニゾミ其熟字ヲサクルニ自在ナリ

公私必要文章目録 畢

宗園、公私必要文章
夫著

月疇散史校

○ 新歲諸願、公違類問合依頼

のぞん
之文

一 筆おのり履端々々々々方

ヒトフデ マラシマデ ハツトシノ ヨロコビ イツカクモ

同軌方為中道持以印歡奉拜
賀其年祭令方少長自其美
仕多由省念下被下音上存梅
只渡まを信の省一枝四贈中々
四居孝とと及借報而信手

惟得若生儀は近船同屈等
書式及公告類更心持不
申時之教令石サハ有私
以標刻之更悲宿之更
と折之問令中と度ゆる有概

啓
 略也教諭を其片尚不日
 昇堂一の及此傍於以之
 不五敬年甫也祝辭者者
 取也呈其辭を謹言
 ○右之其文

葉翰も展也仲摩歳と
 嘉儀のあま無運目出た
 存、陳、早梅、葉、花、香
 上、床、頭、下、放、ま、光、香
 穀部 数りおう就この中、あ

謝^{しやく}之^の於^お示^し諸^{しよ}於^お上^{じやう}州^{しゆ}也^や
 并^{しやう}布^ふ告^こ敷^しを^を所^{しよ}と^と以^い問^{もん}合^が一^{いつ}
 出^{しゅつ}加^から^ら旨^し海^{かい}落^{らく}は^は去^こ願^{げん}を^を心^{しん}
 得^え不^ふ中^{ちゆう}の^のテ^テハ^ハる^る受^う事^じヲ^ヲ也^や
 至^し極^{ごく}之^の思^し良^{りやう}必^{かならず}を^を言^{げん}配^{はい}也^や

存^{ぞん}問^{もん}一^{いつ}の^のら^ら正^{せい}然^{ぜん}如^{ごと}馬^ば銚^{しゆう}之^の形^{かたち}生^{せい}
 固^こ精^{しやう}細^{さい}之^の儀^ぎを^を存^{ぞん}中^{ちゆう}放^{はつ}之^の喻^ゆ
 牙^が雜^{ざつ}不^ふ當^{たう}也^や以^い於^お居^き分^{ぶん}之^の
 法^{ほふ}教^{きやう}授^{じゆ}一^{いつ}の^のを^を先^{せん}之^の後^ご
 の^のを^を以^いは^はる^る也^や

〇五

○小学校へ入学願ひ閉合と文

并小字規則の概略

除養育方針受動心正裁

教養基盤を固く爾を胎見候

稍乳母之膝にを寝せしめ

以て余り幼稚を以て一方今

之盛時之際一室を成長を停

止遺憾を事と対片時も早

入校を致友誼を以て好方

ふ安んじし賜教のし傳

あがまきど ひろきり
方々必法 孝弟 一少 規則
たいーご まさい ありんごきれ そろより たんまきり
大なるは 記載 一少 規則
オホムネ カキリセ
お般の 五聲
ネガヒ ツキグス

○古く四巻

ハテ かん たいけん つまらうきん せんご ぎんごん
ハテ かん たいけん つまらうきん せんご ぎんごん
ハテ かん たいけん つまらうきん せんご ぎんごん
ハテ かん たいけん つまらうきん せんご ぎんごん

ごはうがく あきれ たきおむき せん 思のび
出入言と 制度 執天 宗之 美
ガカウヘイル けう まさ せう けん ぞく ぎんごん
質且 正 記 極 子 神 宗
モチマヘ ソウバハ モアラハヨクク スミヤカ
上達 一の 年 一 抑 人 一 身 一 身 一
ヨクマシ せう けん ぞく ぎんごん
立 産 成 治 業 上 昌 以 一 身 一
たて せん せう けん ぞく ぎんごん
生を 遂 一 心 一 勉 勵 一 知
せい せい せう けん ぞく ぎんごん

識を開達する所の外毒を之が
為政府に於ては大學を起
し人民を文の識を起
志を必むく由を七區に分
古学校を置一古学校を
置

三十有餘の中学校ヲ設け
一中等區に二百又餘の小學
校を立留の定を於ては
五年の間に全量及この中
古学校あり古學校を
置

揮し賜ふは至意のゆつても一也
早九活昇校は至意の方を沖
起ふふ少名を満六歳より
入るべき家の規外は至意の我
國を至意の初稚少名を返す

母之友有志を児軍を
未滿を稚も入学を至意を
有方一人を存する為知見を
教員へ向合を詳細の至意
中隊を存する為紀

學後之次

イソグヘンジ アトサキソノハス

一 小学へ入校を、下等小学の満六年より九歳
まで、高等小学を十歳より十二歳までの規

定あり

一 下等小学の科目を

綴字

算術

国語

讀本 修身 算術

文法

美術

養生法

地理大意

歴史大意

禮術

唱歌

右の内唱歌之科は、当分欠りのこと也

一 高等小学の科目を、史学大意、幾何学

算術大意

博物学大意

化学大意

右の学科を、小学の規則と存す

一 其他ノ形状ニヨリ学科を擴張するが為す

外、国語ノ一二

記簿法

算術

天球学

等の設あるもの也

右を、附記し、そのまゝ

小學入校願

何區何町

何族平民カ

其幾男カ女カ

何ノ誰

年月

右者此度入校相願以上規
則堅為相守可申也

年号月日

父兄保証人
何ノ誰

弟何中学何小学

何學校何中

退校願

何區何町

何族平民カ

其幾男カ女カ

何ノ誰

私儀此度何大区何小区何町何
地ニ移居仕テ右誰儀退校奉
願以上

父兄
何ノ誰

弟何中学何々

何學校何中

○家私塾開業ニ付執事問合ニ

文并私立小學校願ニ奉式

片楮素紙清兩漸放晴日

同交有兄臺出清迄作

とて住を重々口協後ヤリ

家私塾近百并業夜夜
 少受方秋書之體裁萬以
 存市園都の月内多凡
 中及入之少及及奉
 野を以限報生と未おし由何

一の少受及昨の業獲原成
 活き本も備工お二酌中
 付彼是混雜中失差仕
 在陸内方存一之如ら者
 二少及及少奉年名中任

世保命酒一樽おまじ
此酒の味も也

○同業之文

持補付之能き道中より
少休しきし、西家塾の事

業之由者書之むるまを産
躍基を此年、西家問出
淑く物まると傷をまると雛形
之通に徳安権屋の事
出上りて、其空ありは

存 程 為 此 以 得 永 立 本 學 校
 設 立 の 形 式 若 未 記 載 則
 中 々 土 木 工 務 功 績 甚 大
 祝 賀 之 儀 一 經 申 報 賜 上
 之 難 者 亦 當 行 勿 忘 事 矣

家私塾開業願

第一條 學校位置 何所何番地
 第二條 學校費用無 一月謝 何ホド
 第三條 教師履歷 何ノ誰 年ノイ
 第四條 學課 何々
 教則 何ノ
 塾則 何ノ
 右ノ通開業仕度此段奉願上以上
 年月日 何族平民 何ノ誰
 地方長官宛

私立學校設立願

學校位置 何所何番地
 學校費用 金何ホド
 書籍其外キカイ 筆墨紙スミミキ
 學校地代 小使給料
 總計一月何ホド 何ホド
 授業料生徒身元ノ金員富ニ由テ相納ムキ
 但極テ金員ナラズハ此限ニアラス
 教師履歷 何ノ誰 年ノイ
 助教師 何ノ誰
 學科 何々
 教則 何ノ
 時間表 何々
 右ノ通開業仕度此段奉願上以上
 年月日 戸長 學區取締 連名印

○洋行諸人報之文

并於書之案文

春色陽漾群雀競艶
放園之搖志滿南
然也閑像らり年牌より

以車事一之於心也

合名海り水生海り

新製然味定絞一之受

右新製保濟人共互連印

とそ戸長一里中一而裁る考

然るに甘んじて以て然るを得ざるも
 君一人に依りて度と申す
 おりけり新嘉州 書目借
 多新書外ある月あとの借
 小のそと
 ッキズ

○美文
 雲峯お梅は意外に山
 情多飛鳥素海に糸
 百首全盛に好む珠
 寶物花王様様と北
 家

西紀招厚の辰集橋可
 仕松系石土雷はるの富
 津中決議の生着者奉る至
 有固る守るの好年案
 文入用之紙則

 カキ
 むん
 ら
 り
 七イヨサニテガクモンスル
 カラヤマシク
 好年案
 好年案

中ハ証人の儀を任弁
 接其字出控物之被先
 右清道子船少坊中産也
 二仲野鶴之田村酒一橋推
 吉実秀之十

 中ハ証人の儀を任弁
 接其字出控物之被先
 右清道子船少坊中産也
 二仲野鶴之田村酒一橋推
 吉実秀之十

何地區名何々

族籍

誰幾男カ兄弟カ

何ノ誰

年ノイ

右ノ者今般自費ヲ以テ何國何地へ當何年何月ヨリ来ル何年何月マデ何ヶ年ノ間(學業商業カ)執行トシテ航海願ノ通被仰付度規則ヲ相守リハ儀ハ勿論若シ彼ノ地ニ於テ内外人ヨリ借財ホイタシハ共償却方府縣廳ノ中ニ教奉願ハ様之儀決シテ不仕ハ間印章ハワタシ成下何港ヨリ乗船成ル様仕度依テ清人連印ニテ此段奉願ハ已上

年号月日

何府縣長官宛

当人 何ノ誰
受人 何ノ誰

右ノ通事送各坐也

戸長何誰。

右の雛形を照準し、その寸法を
案ずるに洋行の長戸長を
主身におろし取調へ、面色鼻口耳目
音多し身の丈等、いづれも
明細を筆記し、筆蹟を
大に印し、その中より
用おのり、その年、その
新しき

出版條例同令之文
 連句の字句同然符
 惟はるべき所
 此の字句
 眞意
 漸く
 致功
 有

考考考
 見承
 西政
 通条
 改
 改
 改

遠く面晴写一貫の尺屋
 向く審迫種一居の百右
 條創事西林の西屋
 お借多し新と将留字
 田女と女教達種一措
コノゴロ ナガアメ コノゴロ ナガアメ コノゴロ ナガアメ

環粒客まじりる家屋
 石の山先有下石炭
 田還亭
 書亭恭排職多本論
 石の山先有下石炭
コノゴロ ナガアメ コノゴロ ナガアメ コノゴロ ナガアメ

察サツ之ノ書シヤウ史シ 舟フネ村ムラ稿コウ連レン
子シ之ノ閣カク方ホウ子シ 欽キン之ノ心シン 古コ語ゴ
書シヤウ之ノ後カク之ノ心シン 風フウ前ゼン之ノ心シン
禁キン之ノ掃ソウ之ノ心シン 心シン之ノ掃ソウ之ノ心シン

心シン之ノ全ゼン之ノ精セイ之ノ善ゼン 大ダイ之ノ心シン之ノ思シ
心シン之ノ右ウ之ノ心シン之ノ心シン 杖シヤウ之ノ心シン之ノ心シン
心シン之ノ所ショ之ノ心シン之ノ心シン 心シン之ノ心シン之ノ心シン
心シン之ノ心シン之ノ心シン之ノ心シン 心シン之ノ心シン之ノ心シン
心シン之ノ心シン之ノ心シン之ノ心シン 心シン之ノ心シン之ノ心シン

雨舟 徒然 対子 中麻
新編 諸素 一 歌
幸 且 出版 條 條
後 季 曲 茶 歌 心 生 上 考
通 想 り る 長 文 出 考
ナガモシ

み 兜 極 度 の 一
昔 年 記 載 仕 事 中 考
主 権 心 考 一 考 考
秘 愛 の 心 考
ダイジニアイス

○第百三十五号布告

明治五年二月文部省布達出板條例相廢シ更ニ別冊之
通相定ハ条此旨布告ハ事

明治八年九月三日

太政大臣三條實美

○出版條例但略記

第一 圖書ヲ著述シ又外國ノ圖書ヲ翻譯シテ出版ス

ルモノハ其前ニ内務省ヘ届出ベシ

第二 凡圖書ヲ出版スルキハ三十年間傳續ノ權ヲ與

フコレヲ板權ト云フ

但板權ハ願フト願ハザルトハ本人ノ隨意トス

故ニ版權ヲ願フ者ハ願書ヲ出シ免許ヲ請フベ
シ其願ハザルモノハ路人一般ニ出版スルヲ
許ス

第三 出版并ニ版權共草稿ヲ添フルニ及バズト雖ド

モ時トシテ草稿ヲ徴シテ檢査スルコトアルベシ

第四 草稿又ハ納本ヲ檢査シ世治ニ害アル者ハ出版

或ヒハ販賣ヲ禁シ例板ヲ毀タシム

第五 出版并ニ版權願共願人ノ所在ノ地方廳ヲ經由

スベシ

但著訳者出版人其管轄ヲ異ニスレバ出版人ノ

例註ヨリス

第六 特ニ世ニ^{コト}鵠益^{キチ}アル者ハ版權ノ期ヲ終ルノ後又

十五年ヲ^ニ延期^キスルヲ許ス

第七 版權免許ノ為ニ^{シテ}証書ヲ^テ附與^スス年限終ルキハ各

人一般ニ出版スルヲ許ス

第八 著^テ訳書^ヲ大部ニシテ^テ卒業^ス數年ニ^テ涉ルモノハ漸次

出版スル毎ニ版權ヲ與フ

第九 他人ノ著^テ訳書^ヲ已ニ版權ヲ有スル者ヲ^テ續成^スセン

トスルモノハ^テ原註^ニ示談^シ連印ノ願書ヲ出スベシ

其原主死後ナレバ其相續人ヲ以テス

第十 他人ノ著^テ訳書^ヲ版權ヲ有スル者ヲ^テ校訂^シ或ハ^テ編註^ス

略註^ヲ解^キ附^シ録^ス圖^ヲ繪^キホ^ヲ加^ヘテ出版スルモ原主ヘ示談

スル^ハ前條ノ如シ

第十一 版權ヲ有スル^者洵^ニ也ノ著^テ訳書^ヲ校訂^シ節略^ヲ註^スホ

ヲナス者ハ更ニ願出ザレバ版權ヲ得ベカラズ其製

本^ノ式^ヲ改^メ若クハ冊數ヲ分合シテ改板スルニ止

リ或ハ^ハ旧^ニ依^テテ再刺スル者ハ版權ヲ存ス

但シ届ヲ出シ納本スル中各本條ニ依ル

第十二 著^テ訳者^ノ死後ニ至リ其相續人^ノ遺稿ヲ出版スル

又第一第二條ニ依ルベシ

第十三 版權年限未ダ終ラザルノ間ハ版主ノ相續人ニ傳フ

但シ版權讓受ノ由ヲ届クベシ

第十四 他人ノ著訳書ヲ出版スル届書ニハ必ス著述人ト連印スベシ

第十五 版權ヲ有スル書ヲバ他人其條章ヲ剽竊スルヲ許サズ

但シ論辨若クハ証明スル為ニ引用スルハ此例ニアラズ

第十六 同時若クハ前後ニ偶然同様ノ図書ヲ著訳シ

版權ヲ願フモノ二人以上アルキハ共ニ版權ヲ與フ其事情明白ナラザル者ハ事由ヲ検査シテ後コレヲ許シ或ハ許サバルベシ

第十七 外国ノ図書既ニ印者ノ成訳ト雖モ印者又コレヲ訳シ甲者ノ誤謬ヲ正シ又ハ欠漏ヲ補ヒ及ビ其文意ヲ一層明瞭ナラシムルノ確証アルモノハ版權ヲ願ヒ出ザレバ検査シテ後コレヲ許シ或ハ許サバルベシ

第十八 著譯ノ図書同名ノモノト雖モ文理異ナレハ妨ゲナシ

但シ表題ノ上ニ(何某著譯)ト記スベシ

第十九 出板、圖書ハ内務省ヨリ目録ヲ作リテコレ

ヲ公布ス

第二十 圖書刺成ノ上ハ製本三部ヲ内務省ヘ納ムベシ
シ版權ヲ得ル者ハ外ニ製本六部ノ代價ヲ納ムベシ

但出版ノ上海部定價ノ印ヲ押スベシ

第二十一 出版ノ圖書ニハ著訳者ノ住所姓名ヲ記ス
ヘシ其主名ヲ知ルバカラザレバ其由ヲ記シニ何年
何月日出版或ハ版權免許ト記シ版主ノ住所姓名ヲ
記ス氏名、別号スルヲ得ズ版權ヲ相續シ分板讓受

等モ又氏名ヲ記スベシ

第二十二 版權ヲ續買スル片ハ双方連印シテ届ケ出
ヅベシ

第二十三 版權ヲ分テ譲リ若クハ賣リ同一ノ圖書ヲ
各自ニ出版スル妨ゲナシ之ヲ分板ト云フ

但シ双方ヨリ連印シテ届ケ出ヅベシ

第二十四 版權ヲ相續シ或ハ續買分版及ビ改板スル
等凡テ届ケ出サルモノハ版權ヲ失フ

第二十五 願消ノ表題ヲ更改シ若クハ納本ノ後新
ニ序跋ヲ加フル者ハ届ケ出テ更ニ納本スベシ之ヲ

背ク者ハ版權ヲ失フ

第二十六 免許状ヲ失フモノハ其趣ヲ届ケ出タル上更ニコレヲ與フ

但手数料トシテ製本三部ノ定價ヲ納ムベシ

第二十七 小説歌謡ヲ出版スル此例ニアラズ

第二十八 彫画ノ類ハ出版毎ニ第一條ニ依ルヘシ

但版權ヲ與ヘズ

○出版條例罰則

第一第二第三第四章トモ出版條例ニ背クモノノ罰ヲ記セリ

第五 凡ソ著訳ノ図書謄謗律及ビ新聞條例第十二條

以下ヲ犯ス者ハ著訳者其罪ニ坐ス

但著者ハ首ヲ以テ論ジ出版人ハ從ヲ以テス

第六 濫竽俗ヲ乱ルノ図書ヲ著作シ出版スル者云々

ノ罰ヲ記セリ

第七 法目図書犯則ノ濫ヲ受ルルハ云々ヲ記セリ

第八 既ニ版権免許ヲ得ルト雖モ出版ノ上犯則ニ涉

ル者ハ仍ホ本條ニ依テ罪ヲ科ス

右ノ件ノ以テ本館ニ於テ下ノ教

部省より出版する事付身同年十月十二日
 甲才士より出版する事付身同年十月十二日

圖書出版ノ儀内務省ヨリノ布達アレハ各社ノ祭
 神考縁起書神徳記ナドノ類ニ限り今後出版スル
 モノハ一應當省へ稿本差出し檢閲ヲ經テ後内務

省へ届ケ出マシ
 右空國幣社ノ四巻一屆既来
 多休左を著一ヤ、
 カキカク
 シルシ

出版届 (板権ヲ願フ者)
 (出版ニ権ヲ願フ)

一書名
 何年何月出版
 何冊 寸法
 大 小

右(私或ハ集)著者何々ノ事ヲ記載シ
 一切條例ニ背キハ儀無之ハ向今
 度出版致度此段内届申上ホ也

(版權ヲ願フ者ハ出版致度ノ下ヲ
 猶版權免許奉願ハ也。以下之儀ヲ
 族籍 何ノ誰ノ
 住所
 年号月日

内務卿何ノ誰殿
 此處へ地方廳長官與書シテ進達ニスル

出版届 (板権ヲ願ハ
 上ノ通りス)

一書名
 何年何月出版
 何冊

右何ノ誰著者何々ノ事ヲ記載シ
 一切條例ニ背キハ儀無之ハ向今度
 示談ノ上出版致度此段内届申上ホ也
 (版權ヲ願フモノハ上ノ書式ニ依テ)

族籍 著者何ノ誰ノ
 住所
 年月日
 出版人何ノ誰ノ
 住所

内務卿宛

出版届出願書願

一書名 何年何月出版 何冊大

右ハ私著何々ノ事ヲ記載及シ一切條例ニ背キハ儀多之付今度出版仕向所與書被成下内務省御進達奉願也

年号月日

何ノ誰。

族籍

何府縣知事令殿

板権出願

一書名 何冊大

右ハ誰^(或ハ私)著何々ノ事ヲ記載論述^(翻訳ナレハ私以下ニ代フルニテ文ヲ用ユ)何年何國何氏著何ト題シ何々ノ事ヲ記載論述セル原書何誰^{先人}私翻訳及シ去何年何月出版致シ者ニシテ一切條例ニ背キハ儀無之ハ向此度板権免許奉願也

年月日

何ノ誰。

族籍

内務卿宛

板権 買受

一書名 何著者氏 何冊

右ハ年月板権免許ヲ得テ何某所於^{ハ所今度示被ノ上何某買受ハ二付}死去相鏡人受^{シテ今}何年何月同人^{度以下ニ代ルニテ文ヲ用}死去私板権相鏡致^リ存此段届申上^也

年月日

版主死去相鏡人 受^{シテ}手ハ^{獨リ}其者ノ名ヲ以テス

板権相鏡人

内務卿某殿

此件ハ^{トモ}於届書何^カ

モ^カ族籍^カ務^カ定^カ所^カ在^カ記^カ

少^カ年^カ主^カ勿^カ論^カ用^カ致^カ

美^カ濃^カ白^カあ^カる^カこと^カ通^カ

お^カの^カた^カる^カ色^カ前^カ布^カ

ぬ^カく^カ花^カ板^カ人^カ所^カ在^カ

地方^カ庭^カへ^カる^カ事^カ也^カ

シハイヤクシヨ

○電信怒方問答と文

并他見年得る電報の誤方
及び報使と電報を報の
概分

本ノホノチリ
尖若生ぬ
燭若熱
日刻
天
業上
炭
句
晴
天

以済を
宏闊
列位
並
様

被来
消光
尖
角

甲維
新
来
電
録
日

盛大
来
葉
甲
時
時
有

子生
後
ま
る
の
神
器
有
る

西哲^{サイテツ}の^{モノ}物^{モノ}理^リを^{モト}推^{オシ}究^クは^ス
 る^ニ萬^{マン}の^イ感^{カン}佩^{ペイ}は^ス居^ル之^ノ不^レ勝^ル也^{ナリ}
 前^{ゼン}月^{ゲツ}乃^チの^{タメ}而^{シテ}用^{ユウ}奇^キ巧^{コウ}を^{モト}求^ムル^ニ
 越^コ中^{チュウ}不^レ少^ク也^{ナリ}至^{シテ}五^ゴ五^ゴの^イ為^ニ其^ノ為^ニ事^ト也^{ナリ}
 以^テ明^{メイ}中^{チュウ}之^ノ地^チ一^ニ音^{オン}也^{ナリ}

枝^エ度^ドの^イ受^ウ太^{タイ}雷^{ライ}花^カ之^ノ然^ニ
 亦^モ有^リ之^ノ一^ニ也^{ナリ}素^ソ成^{セイ}也^{ナリ}
 確^{コト}か^ラ五^ゴは^シ多^ク忙^{マシ}也^{ナリ}操^{ソウ}也^{ナリ}
 之^ノ方^{ホウ}也^{ナリ}

西来一己

又原大者シヨウ作サツ折セツ角カク法ホウ

自ジ宝ホウ多タ積シヨウ花カ少セウ才サイ方ホウ

菊キク堂ドウ酒シウ一イチ物モノ樽ソン樽ソン酒シウ

一イチ樽ソン候コウ致シ一イチ驗ケン才サイ方ホウ

貴キ電デン一イチ出シュツ吐ト存ソン以イ字ジ釋シヤク

○ 卷

擇タク一イチ思シ法ホウ一イチ為ウ高コウ海カイ器キ

之シ作サク者シャ當トウ倍バイ少セウ積シヨウ泰タイ車シャ

折セツ新シン一イチ仲チュウ賢ケン自ジ息シツ方ホウ

〇 十四

瑞素山 浪崎 港表 正敷
 帆 重 極 巨 萬 利 差
 一 之 法 乳 電 乳 丹 被
 修 中 少 生 也 委 自 名 存
 五 中 以 得 た 久 也 也 一 視 方

法 或 毒 之 以 先
 飯 金 也 一 ト ケ イ ハ モ ト
 ネ コ ケ モ ウ リ サ バ ク ベ シ フ ラ
 シ ノ ル カ ネ キ シ ノ フ ノ タ イ マ
 ニ ソ ウ キ タ ル 妙 事 也 也

代價を返すにやあ
許すにやあ
見を夢にやあ
電信局のあを
尤他人に披
子ガヒ
コト
ヤクシヨ

場所より電報をよ
方法等のあを
おれにやあ
此に於て
あはれに
アタビマラス
ヨキウマキ
セイヨウガケ
アタ

蠶山惠賜トト子象ノ種
 有連々お味一ツクル也
 和文傍弼奉るる事
 記の症有極ニ概略ニ
 記の症有極ニ概略ニ

工部省番外ノ布達

一 電報信書ノ中他人ノ披閱ヲ憚カル為ニ親展内啟直
 披ソノ外ノ文字ヲ書入ルモノアレハ其記載位置ノ
 定マラサルヨリ動モスレハ音信本文ト混淆シテ緊
 要ノ事件ヲ却テ他人ニ觀ラル、一聞コレアリ大ニ
 弊害ヲ醸ス趣ニ付右様他見ヲ憚カル音書ハ尋常ノ
 書状脇付ノ通り親展ノ旨ヲ届ケ先キ人名ノ脇へ記
 シ電信局へ頼ミ出ヘシ

右布達ノ全文ニ付

全省番外

一 電信局ノナキ所ヨリ郵便ニテ雷報差出シタキ者ハ郵便切手ヲ買受右ヲ音信料トシテ音信文ト合封シ其最寄ノ電報局ヘ宛テ書留郵便ニテ差出フヘシトノナリ

此方法ヲ明治九年一月二日より施行セラルト内務工部西郷の申達シアリタリ。但郵政事務北郵便局ニ電信債券表掲置スル旨付古表を閱一者位料を拂フ

一 左ノ音信表ハ片仮名廿字マデノ音信料ニシテ其余ハ十字ヲ加フル毎ニ半價ヲマス十字ニ滿タサルモ亦同様ナリ

一 東京大坂府下ハ各局氏五錢トス但シ宿所宛名氏字数ノ代價ナシ

一 届賃二里以内ハ道ノ遠近ニカ、ハラス毎一通一銭
 五厘ナリ
 一 書留音信料ハ通常音信料ノ半價ヲ加フ符徴音信ハ
 出状人ヨリ照校ヲ願ハバ又同様半價ヲマシ拂ハシ
 一 別仕立ニテ届ケルコトヲ乞フ片ハ里數ニ應シ一里ニ
 付十二銭ヲ拂フコト
 一 二里以外ハ郵便ニテ届ケルヘシ
 一 横濱神戸長崎函館ノ港内碇泊ノ船々へ音信ヲ送達
 スル片ハ海路ノ遠近ニカ、ハラス出状人ヨリ十五

錢ノ届賃ヲ拂フベシ右四港ノ外ハ其船ノ會社又ハ
 問屋へ送達スベシ仍テ其宛名ヲ詳細ニカスベシ
 一 ツノ音信ヲ甲乙丙丁ハ數人へ連名宛ニテ送り着
 ノ上分達スルコトヲ乞フモノハ甲一部ノ音信料ト并
 夫々甲乙丙丁トモ届賃ハ定メノ通りお拂ヒ乙丙ハ
 ノ分ハ認料トシテ一通ゴト三字限ラズ七銭ヲ拂フ
 バシ但シ一ツノ音信トイハル神戸長崎又ハ西京大
 坂ホノ如キ掛ケ離レタル所へ送ル片ハ一々定メノ
 音信料ヲハラフベシ
 ○ 和文電信賃錢表

〇同答之文
 不日果度第幾一の巻
 以所宜
 〇同答之文
 瑶清解職漸之新源

〇同答之文
 社連清日森怡瑞重之伸也
 此度自皇京之果本度出轉
 〇同答之文
 〇同答之文
 〇同答之文

出月心得字業身
此母信子来一の将亦
送籍子續山間合を角
有子お徳るるし一の
あづい跡海一備もあまを

身百持是山照考一の
海心且極之山存知
何多てくし書轉居明細水
と程舟書武是亦お徳
持ら申し古山持福を

冊短届縣歸

立学籍廳の証を受け平民を戸
長連印を証して送籍お来
りの中を存す

於本縣何年間寄留願済

當地何大区何小区何町何地寄留

家禄何石

何之誰

何族平民カ

何年何月...出届
来ル何年何月...當地發足

混雜の多に...
お存...
右四回音也あり
為る華士族...送籍...戸長申

冊ガ短^ク届^ト留^リ寄^キ 冊ガ短^ク明^カ細^カ

何地何大区何、地寄留生國何地、養祖父何ノ誰養父何 誰何

何地何郡何、地

家祿何石

何ノ誰

何ノ年何月父家督相統何、月何、
奉職何、

旧通称、
明治、年何月何年、

家祿何石

何、縣族籍

何ノ誰

何年何月何日

明治何年何月
何年、月

宿所何地何大区何小区、地寄留

冊ガ短^ク届^ト居^リ轉^シ 冊ガ短^ク得^ル心^ニ守^ル留^ル

何地何大区何、地寄留
何縣族籍何ノ誰

私儀^{所用之義カ}何ノ誰方へ来ル幾日ヨリ往復共日数数日間罷越
付前書推へ留守を心得此段申上ル也

年月日

何地何大区、地
族籍 何ノ誰

右イヅレモ用紙之ノ紙堅六ツ切大横二十五分堅九寸

家祿何石

族籍

何ノ誰

宿所

何年何月、日
何地何大区何小区、地
全戸カ轉居
单身カ

右ハ半帛堅六ツ切ナリ

貫屬替願書

今般私共儀何ノ地へ移住仕
度外ニ付管轄替仕度外間全
戸送籍状ハ渡被成下ノ様奉
願也

何ノ所
族籍

年月日

何ノ誰

.....殿

送籍状

一生国.....	何所族住所 何ノ誰
.....	妻 タレ
.....	男 タレ
.....

右ハ從來當府縣管内何所住居
罷在ハ外今般願ノ通其府縣貫屬
替被仰付小向當方致除族外係以
來其所方ハ加籍有之度也

年月日

.....

.....

○婚禮之儀并送籍向合文

附 送籍之儀并送籍向合文

婚姻規則ハ概略

トガゴニテニシテ
ラリカラ
ゴキゲンヨク
マカリイデ
イロク
チ
シ
タシ
キ

家^{ウチ}の^{オホムネ}大^{オホムネ}に^{オホムネ}厨^{オホムネ}を^{オホムネ}授^{オホムネ}け^{オホムネ}し^{オホムネ}た^{オホムネ}
 群^{ヒラ}を^{ヒラ}生^{ヒラ}産^{ヒラ}す^{ヒラ}に^{ヒラ}棟^{ヒラ}を^{ヒラ}造^{ヒラ}ら^{ヒラ}し^{ヒラ}て^{ヒラ}
 小^コ居^コる^コを^コ生^コ産^コす^コに^コ大^コ旨^コと^コす^コ
 軍^{イクサ}の^{イクサ}次^{イクサ}女^{イクサ}侍^{イクサ}の^{イクサ}い^{イクサ}や^{イクサ}く^{イクサ}甘^{イクサ}果^{イクサ}生^{イクサ}す^{イクサ}
 孫^{マユ}に^{マユ}お^{マユ}禮^{マユ}来^{マユ}る^{マユ}を^{マユ}儀^{マユ}の^{マユ}婚^{マユ}
 ヨヒ
 小^コ居^コる^コを^コ生^コ産^コす^コに^コ大^コ旨^コと^コす^コ
 オホムネ
 オホムネ
 オホムネ
 オホムネ

姻^{イン}の^{イン}略^{イン}禮^{イン}は^{イン}い^{イン}の^{イン}就^{イン}を^{イン}す^{イン}は^{イン}
 陰^{イン}に^{イン}風^{イン}塵^{イン}を^{イン}吹^{イン}か^{イン}す^{イン}に^{イン}附^{イン}き^{イン}て^{イン}居^{イン}る^{イン}
 と^ト届^トき^トる^トを^トい^トふ^トに^トび^トて^ト送^トる^ト籍^ト
 小^コの^コ書^コ面^コを^コ向^コけ^コて^コ居^コる^コに^コ禮^コ
 裁^{サイ}を^{サイ}い^{サイ}ふ^{サイ}に^{サイ}お^{サイ}の^{サイ}座^{サイ}敷^{サイ}の^{サイ}儀^{サイ}
 アラマシ
 カキ

視と来ら郵役と柱一可
お方と度ま然と
ツキズ

○田回音

意事持續心清
穆正喜とと内と書日と惠
ヤカヨロコビセシヤウザ

然の宛係と来ら少受
今年印と珠信と喜と失
度まお角片伸とと服
主人娘と婚儀と堂と祥
福来とと喜と祝と殊と

集氏も方今有る名も秀
 ナニガシイマヒトノシルヒラ
 才覚と枕天と西匠何
 ヒトメデタキイッツイ
 茶茶茶と吉瑞も愛
 サカユクオイツワ
 有るツツは白お守り庵
 ヲシロコオシタニカ
 家と壽詞のなまじり有
 イトデキニブル

度概と才枕を奉
 ヨロコビラケクモ
 近借老魚一匹お星
 クルマエシヤルアラハ
 西匠何と度
 りイハイヲサメ
 類何と掲載
 カキノセ
 おお
 フシテマラス

縁組ヨウグミ届

某何大区何...番地

身分
何ノ誰誰女

年年齡

右ノ者私實子何ノ誰ハ双方熟
識ノ上為娶昨幾日引取引取間此段
内届申上以上

何所 身分

年月日

何ノ誰 ○

何大区何小区

戸長中

送籍ソウセキ願

何大区何...番地

身分
何ノ誰誰男男女女

年年齡

生国何...
氏神何社

右ハ今般何大区...何業何ノ誰
方方他国他国ハ何縣何縣養子養子ニ差遣差遣シ
ハニ付送籍送籍渡被下度此段奉願
小也

年月日

何ノ誰 ○

宛名上ト全シ

養子ヨウジ届

何大区何...番地

身分
何ノ誰誰男

何ノ誰

年年齡

右ノ者私家名相続人親戚ノ内相
應ノ者喜喜座座付今般双方熟識
ノ上養子ニ貫貫ト請昨幾日引取間
此段内届申上以上也

何大区...番地

身分

何ノ誰 ○

年月日

戸長宛

右ノ者...戸長へ届

出まご士族ナレバ戸長へ

送籍願ハ全下月分

送籍願ハ全下月分

取集の翌月お届ケル

申上ケル

養子願銀まいたを離縁ハ

熟練の上双方お届ケル

故に戸長へ届出双方より在籍簿に記入
 せし若し其後あるを明治八年十二月
 廿五日より起る迄は在籍簿に記入せし
 左記の如し日本に在る外国人との婚姻
 姻を以てしるるは市街の抄字を以て

- 一 日本人外国人ト結婚セントスル者ハ日本政府ノ允許ヲ受クベシ
- 一 外国人ニ嫁シタル日本人ハ日本人タル分限ヲ失フ

- マシ若シ故アリテ再ビ日本人タル分限ヲ願フモノハ免許ヲ得ベシ
- 一 日本人ニ嫁シタル外国ノ女ハ日本ノ国法ニ従ガヒ日本人タル分限ヲ得ベシ
- 一 外国人ニ嫁シタル日本ノ女ハ其身ニ属シタルモノト云凡日本ノ不動産ヲ所有スルコトヲ許サズ但日本ノ国法并ニ日本政府ニ定メタル規則ニ違反スルヲナクバ金銀動産ヲ持携スルハ妨ゲナシトス
- 一 日本ノ女外国人ヲ婚養子トナスモノモ又日本政府ノ允許ヲ受クベシ

一 外国人日本人ノ塔養子トナリタルモノハ日本国法ニ従ガヒ日本人タル各限ラ得ベシ
一 外国ニ於テ日本人外国人ト婚嫁セントスルモノハ其近国ニ在留ノ日本公使マタハ領事官ハ願ヒ出テ許可ヲ乞フベシ公使領事官ハ裁下ノ上日本国政府ハ届ケ出ベシ

右ノ一ノ如ク今日ノ日本ハ昨日ノ日本ニ異ナラズ先報就始初ニ考テ教

○ 漫言ニ至ル

○ 金子借用債借之文

附 建物書入賃入仲税規則

其為以同商事トシテ玉律平
係保固金少納福

車^{ニヨロコビ}急^{ニヨロコビ}矢^{ニヨロコビ}下^{ニヨロコビ}南^{ニヨロコビ}生^{ニヨロコビ}先^{ニヨロコビ}の^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}
 少^{ニヨロコビ}彩^{ニヨロコビ}花^{ニヨロコビ}中^{ニヨロコビ}の^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}生^{ニヨロコビ}先^{ニヨロコビ}の^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}
 件^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}征^{ニヨロコビ}西^{ニヨロコビ}征^{ニヨロコビ}世^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}苦^{ニヨロコビ}魚^{ニヨロコビ}
 以^{ニヨロコビ}括^{ニヨロコビ}眉^{ニヨロコビ}派^{ニヨロコビ}君^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}如^{ニヨロコビ}以^{ニヨロコビ}以^{ニヨロコビ}
 必^{ニヨロコビ}上^{ニヨロコビ}至^{ニヨロコビ}急^{ニヨロコビ}如^{ニヨロコビ}回^{ニヨロコビ}子^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}以^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}

少^{ニヨロコビ}雅^{ニヨロコビ}来^{ニヨロコビ}朝^{ニヨロコビ}野^{ニヨロコビ}築^{ニヨロコビ}以^{ニヨロコビ}不^{ニヨロコビ}成^{ニヨロコビ}
 少^{ニヨロコビ}松^{ニヨロコビ}少^{ニヨロコビ}瓦^{ニヨロコビ}返^{ニヨロコビ}亭^{ニヨロコビ}
 葦^{ニヨロコビ}葉^{ニヨロコビ}里^{ニヨロコビ}雲^{ニヨロコビ}園^{ニヨロコビ}織^{ニヨロコビ}女^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}滄^{ニヨロコビ}光^{ニヨロコビ}活^{ニヨロコビ}
 中^{ニヨロコビ}和^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}好^{ニヨロコビ}財^{ニヨロコビ}第^{ニヨロコビ}一^{ニヨロコビ}家^{ニヨロコビ}退^{ニヨロコビ}還^{ニヨロコビ}
 法^{ニヨロコビ}權^{ニヨロコビ}共^{ニヨロコビ}少^{ニヨロコビ}松^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}以^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}之^{ニヨロコビ}東^{ニヨロコビ}

陳生 爲之 西報 杜之一案
度外 延行 殊一 多累
至棟 懼之 右之 西中 入之
如く 家屋 極多 亦在 必
然 西用 立一 吊一 旨 即 辰 堂
ラズ

主方より 報載 有之 也
此 都 合 法 事 明 白 現 場
者 之 関 与 上 合 意 否 亦 確 定
以 此 之 儀 以 存 條 生 條
亦 亦 者 之 以 事 以 付 役
オハシジマデ

為^{あつち}と^{えん}般^{はん}建^{たて}物^{もの}書^の入^う質^{しつ}規^き外^{がい}
 市^ご會^{かい}令^{れい}來^き省^{しやう}証^{しやう}書^{しよ}未^ま終^{しゆう}
 右^{みぎ}照^{せう}準^{じゆん}シ^シ以^{もつ}得^{とく}シ^シ未^ま終^{しゆう}
 公^{こう}文^{ぶん}少^{せう}シ^シ以^{もつ}得^{とく}シ^シ未^ま終^{しゆう}
 概^{がい}則^{そく}未^ま終^{しゆう}
アラマシテキソク

〇太^{たい}政^{せい}官^{くわん}第^{だい}百^{ひやく}五^ご十^{じゅう}八^{はち}号^{ごう}
 第^{だい}一^{いち}條^{じょう} 金^{きん}穀^{こく}借^か主^{しゆ}又^{また}ハ預^よリ主^{しゆ}ヨリ返^{かへ}済^{さい}スバキ証^{しやう}据^こト
 シテ貸^か主^{しゆ}預^よケ主^{しゆ}ニ對^{たい}シ引^ひ當^{たう}トシタル建^{たて}物^{もの}ノ因^{いん}面^{めん}
 券^{けん}印^{いん}紙^し貼^て用^{よう}例^{れい}規^きを并^{なら}び
 抄^{せう}文^{ぶん}一^{いつ}筆^{ひつ}入^いニ
又キガキ

ト証文ニ戸長ノ公証ヲ受ケタルモノヲ渡シ置テ
書入質ト云フ

第二條 書入質トナス建物自身ノ地所ナレバ其旨ヲ
証書ニ記ス又借地ナレバ其地主ニ清ヒ貸地タル
コトヲ記スル奥書ヲナサンムベシ若シ借地ノ建
物地主ノ奥書ナキハ書入質ナキ借用証文ト看做
スベシ

第三條 金穀ノ借主預リ主ヨリ建物引當ノ証文ト建
物ノ図面トヲ其管轄スル戸長役場ニ差出し奥書
割印ヲ受ルヲ公証ト云フ

第四條 建物書入質ノ証文ニ添エタル図面中ニ書入

質トシタル所ノ建物ノ図ハ殊引墨字トナシ其他

ハ墨引墨字トナス第一第二号書式ヲ見合スベシ

第五條 戸長役場ニ於テ建物書入質記載帳ヲ備ヘ置

キ証文ノ奥書割印ヲ願ヒ出ル片ハ其大旨ヲ記入

シ帳面ト証文ニ番号ヲ朱書シ割印ヲ押シ図面ニ

モ同シ番号ヲ朱書シ割印ヲ押ス戸長不在ナレバ

其旨ヲ記シ副戸長奥書割印ス

第六條 建物ヲ引當トシタル証文ニハ前條ニ背クモ

ノハ書入質ナキモノトス

第七條 此規則施行以後ハ建物書入質ノ証文ニ必ス
返済ノ期ヲ定ムベシ若シ返済期限ナキハ書入質
ナキ証文トナス

第八條 此規則施行以前ニ契約シタル建物質入又ハ
引當ノ借用金穀又ハ預リ金穀ニテ返済期限ナキ
ハ明治九年二月二十八日ヲ期限トス。但シ此條
以下畧ス

第九條 此規則施行以前契約シタル書入質証文ハ期
限ナキハ明治九年四月三十日マデニ書キ改ムベ
シ若シ改メザルハ出訴スベキノ權ナシ云々

第十條 建物ノアル所ヲ管轄スル裁判所ニ於テ原告
人ノ訴訟ヲ受クレバ其被告人ノ建物書入質ノ証
文ハ公証スルヲ留ム云々

第十一條 第八九ノ二條ニ背ク者ヲ罰ス云々

第十二條 一棟ノ建物ヲ二重三重ニ書入質トナスハ
嚴禁ナレトモ若シ其書入質トナリタルヲ知りテ
乙ノ金主ヨリ其代價ノ甲ノ書入ヨリ餘分アルヲ
見込貸渡スハ公証スベシ云々

第十三條 書入質トナシタル建物燒失流亡ホノ片ハ
其持主又ハ代人ヨリ七日内ニ其趣ヲ戸長ニ届出

ベシ戸長ユレヲ建物書入質記載帳ノ朱書番号ニ
引合朱ヲ以テ点合シ其趣ヲ記シ実印ヲ押スベシ
第十四條 書入質流失焼亡ホノ節貸主ヘ代リ質ヲ受
取ルヲ求ルヲ得ベシ若シ借主代リ質ヲ出サ
レバ返済ノ期限未滿ト虽氏返済ヲ求ルノ訴ヲナ
スヲ得ヘシ

○建物賣買譲渡規則

第一條 自身所有ノ地ニ建ル建物ヲ賣渡シ又譲リ渡
サントスル者ハ讓渡證書ト図面トニ戸長ノ奥印
ヲ受クベシ借地ナレバ其地主ヨリ貸地タルヲ証

スル奥書ヲ得テ戸長ノ奥印ヲ受クベシ

第二條 建物ヲ買受又ハ譲リ受ントスルモノハ自身
又ハ代人建物アル地ノ戸長役場ニ至リ建物書入
質記載帳ヲ見合シタル上其讓渡シノ証文ヲ受取
然レテ後戸長或ハ副戸長面前ニテ何大區、、、ノ
建物ヲ何某ヨリ讓受ノ旨ヲ記入シ年月姓名ヲ記シ
実印ヲ押スベシ此ニ背クモノハ賣讓渡シノ效ナ
キ金銀借用証文ト見做スベシ

第三條 戸長役場ニ於テ建物讓渡証文ノ奥書割印ヲ
願出ル片ハ是又建物書入質記載帳ニ記入スルヲ

及ビ証文ノ奥書等ノ手数スベテ建物書入質規則

第五條ニ準ス

第四條 書入質トナリタル建物ヲ買受譲リ受タル者

ハ其建物ノ書入質トナリタル金数ノ償却ヲ引受

クバシ但シ買受譲リ受人ニ於テ其建物所有ノ權

ヲ拋棄スルトキハ書入ノ金数償却ヲ引受クルニ

及バズ

第五條 第四條ノ場合ニ於テ戸主ノ後ヲ受タル相續

人ハ前戸主ヨリ譲リ受タル建物所有ノ權ヲ拋棄

スト雖モ書入質ノ金数償却ヲ引受クベシ

式書号一第

明治何年何月...日書入質

何大区何小区...番地建物

朱 第一番 平家長屋 何坪

朱 第三番 二階造 本屋 何坪

何府縣何大区何...番地...住居

建物持主何ノ誰

式書号二第

何レモ上ノ如ク認ム

朱 第一番 平家長屋 何坪

朱 第二番 土藏 何坪 墨

上全断ニシタム

...殿

第一類 諸 証	
賣品并ニ職業ノ受取書	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
預リ金(証文手形)	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
耕地小作証文	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
遺金証文	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
質物預リ(預リ小扣)	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
諸會社株手形	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
荷物送り状	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
全預リ証書	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ
地所建家讓与証書	金高十圓以上ハ一錢ノ 金高十圓以下ハ界紙ヲ 用ユバシ

○證券印税ノ概則并ニ罰則ノ畧

何号 何年何月...日 何大区何小区何町何番地 建物ヲ何某ヨリ何某ニ書入 質トナリタリ 何年何月...日 燒亡 流失 戸長 何ノ誰 何号 何年何月...日	何年何月...日 何年月日何大区何...番 地ノ建物ヲ何某ヨリ(買受讓リ 受申ハ也 何大区...番地 住居 寄居 何ノ誰
--	--

空

証		諸			類	
借家証文	借地証文	賣買諸品 <small>代價以上</small> 借用証文	雜穀借用証文	米借用証文	米穀并諸品賣買約定証文	全約定為取換証文
					金銀約定証文	荷為換手形
					諸清負証文	滿雜穀高十石未滿右ハ界紙ヲ用ユ○金高十四以上
						廿四未滿米高五石以上十石未滿雜穀高十石以上廿石未滿右ハ印稅一錢○以上共ニ金ハ十四米ハ五石雜穀ハ十石每ニ印稅一錢ヲ增加ス

二		第			書	
為換手形並買手形	諸品(質入書入)証文	公債証書類賣買証文	地所家(質入書入)証文	地所并建家賣渡証文	預リ金 <small>証文但使用ヲ為サル明文ナキ分</small>	借用金証文
						跡式讓狀
						公債証書類讓与証書
						物品讓与証書
						錢ノ印紙ヲ貼用ス
						第二類諸証書中ノ諸廉金高十四未滿米穀高五石未

書

金十四以上記載雇人請狀

諸賣買証据金預手形

諸敷金証文

○第三類証書

諸酒切手

升目一升未満界紙ニ及ハス。一升以上一斗未満ハ印税一錢。一斗以上二斗未満ハ全二錢。二斗以上三斗未満ハ全三錢。

食類切手

代金廿五錢未満ハ界紙ニ及バズ。廿五錢以上二斗五十錢未満ハ印税一錢。二斗五十錢以上五斗未満ハ全二錢。五斗以上十斗未満

ハ全三錢

水油醬油

代金廿五錢未満ハ界紙ニ及バズ。廿五錢以

其外諸品

上五斗未満ハ印税一錢。五斗以上十斗未満

賣買切手

ハ全二錢。十斗以上廿斗未満ハ全三錢

以上切手ハ裁許ノ高ニ至ルトモ總テコレニ準ジ印税増加スベシ

荷物受取証書

送状附添ハガル分界紙ニ及バズ送状附添ノ分ハ界紙ヲ用キルカ又ハ印紙貼用ノ荷物判取帳ニ記入スベシ

金高記載ナキ約定証書雇人請狀類總テ界紙ヲ用ニシ

○第一類諸帳簿

金錢判取帳

附込見積り高百圓未満ハ印紙界紙

質物通帳

ニ及バス百圓以上ハ第二類証書ト

金錢當坐預通帳

全シ百圓毎ニ印税一錢宛ヲ増ス

○第二類諸帳簿

質物臺帳

附込見積り高百圓未満ハ印紙

金錢一時貸借帳

界紙ニ及ハズ二百圓未満ハ印

諸品損料帳

税一錢二百圓以上ハ百圓ゴト

尙賣品當坐儲通帳

ニ印税一錢ツ、ヲ増加スルモ

金錢預通帳但使用ヲナキ令

ノナリ

○第三類諸帳簿

荷物判取帳

附込箇數ニ拘ラズ一ヶ年付印税廿錢

諸品判取帳

○印紙界紙ヲ用井ザル書類

官印シ或ハ官使ノ公務ニ依リ調印セル受取書証書類租
税賦金区入費ノ区戸長ヨリ受取書官祿家祿賞典救助
受取書裁判受書ホナリ

○賞罰例概則

- 一 証券印紙ヲ用ウベキニ用井ザル者ハ脱税高ノ廿倍
- 一 右ノ証書ヲ受取タル者十倍

一 第一類 第二類 第三類ノ証書ニ印紙ヲ貼用セザルモノハ
 脱税高ノ廿倍
 一 右ノ証書ヲ受取タルモノハ十倍
 一 第一類 第二類ノ帳簿ニ印紙ヲ貼用セザルモノハ脱税
 高ノ廿倍
 一 第三類ノ帳簿ニ印紙ヲ貼用セザル者ハ全六倍
 一 証書帳簿ニ印紙ヲ不足ニ貼用セシ者ハ減税高ノ十
 倍。其証書ヲ受取タル者全五倍。以下畧ス
 一 印紙ノ規則ヲ犯ス人ヲ訴へ出相違ナキハ過料金
 ノ半高ヲ下サルベキナリ

○郵便為替問合ニ文
 附郵便規則ニ抄略
 恭啓仕居家父儀並々
 仙洞所
 博覽會拝觀者之四
 本五

西^{さい}雪^{えん}我^{われ}巡^{めぐ}格^{かく}下^か止^と衆^{しゆ}馬^ば
開^{ひら}一^{いつ}列^{れつ}着^{ちやく}以^い分^{ぶん}此^こ夜^や霜^{しも}飛^ひ
少^{せう}産^{さん}乍^{しか}付^つ世^せ志^し四^し者^者曲^く一^{いつ}
被^から^ら然^{ぜん}る^る小^{せう}彼^か地^ち未^ま亦^{やく}力^{りき}
買^か入^い物^{ぶつ}品^{ひん}互^ご立^たて^て石^{いし}少^{せう}所^{ところ}を^を郵^{ゆう}

彼^か力^{りき}替^かり^り以^い年^{ねん}海^{かい}一^{いつ}の^の事^{こと}送^{おく}
様^{よう}申^{まを}然^{ぜん}る^る交^{かう}中^{ちゆう}生^{せい}者^者為^な換^か
振^あ合^{あひ}名^な未^ま確^{かく}告^こ五^ご地^ち殿^{でん}因^{いん}
神^{かみ}後^ご一^{いつ}居^いり^り之^の親^{おや}本^{ほん}以^い着^{ちやく}務^む
出^い多^た端^{たん}と^と交^{かう}悲^ひ懼^くと^と交^{かう}小^{せう}

得^えずも大^{たい}略^{りやく}の精^{せい}示^しを^を重^{じゆう}ん^んと^とす^す

○報^{ほう}章^{しやう}

仲^{ちゆう}手^て書^{しよ}者^{しや}お^お厚^{こう}者^{しや}出^{しゅつ}刊^{かん}
同^{どう}五^ご年^{ねん}報^{ほう}役^{やく}力^{りき}換^{かへ}之^の条^{じょう}件^{けん}

弁^{べん}者^{しや}有^あり^り開^{かい}き^きの^の概^{がい}分^{ぶん}書^{しよ}
先^{せん}之^の活^{かつ}字^じ一^{いつ}書^{しよ}之^の分^{ぶん}を^を材^{さい}と^とす^す
者^{しや}持^{もち}て^て出^{しゅつ}書^{しよ}一^{いつ}の^の下^げ即^{すなはち}
待^{まち}た^た中^{ちゆう}を^を待^{まち}た^たる^る者^{しや}も^も復^{ふく}
代^{だい}時^じ角^{かく}の^のと^とす^す

考来尔生家信地郵
 後の西段
 後
 後

○郵便為替規則ノ抄録

一為替ハ午前十時ヨリ午後四時マデ取扱フ

一 一月一日其他郵便事務ヲ休ム片ハ為替モ休業ノ
 一 為替ハ路ノ遠近時ノ都合ニ拘ハラズ總テ左ノ割合
 ヲ以テ代料ヲ收ムベキ
 金五圓以下五圓マデ五錢○金十圓以下十圓マデ八
 錢○金十圓以上廿圓マデ十二錢○金廿圓以上三十
 圓マデ十五錢
 一 為替ヲ差出スモノハ局ニ備ヘアル為替願書式紙ヲ
 申受コレニ其金高并ニ差出人及受取人ノ姓名宿所
 ヲ明細ニ書入レ申スベキ
 一 右ノ願書ヘ其金銭并ニ當然ノ為替料ヲ添テ差出ス

片ハ為替証書ヲ渡スベシ此証書ハ自費ヲ以テ郵便
 ニテ受取人へ送ルベキ
 但レ之ヲ送ル片書状ヲ添テ差出人自今ノ姓名宿
 所其外氏為替願書ハ書キ入レタル文字符號小ヲ
 洩スナク其文字ノ認メ方ヲモお違ナク記シ且
 其為替金ヲ受取ベキ郵便局ニテ一々尋問ニ及ブ
 并能ク明細ニ返答スベキ旨ヲ申送ルベキ
 一 為替金ヲ受取ルモノハ其証書面ニ記シタル郵便局
 ニ至リ其証書ヲ差出し検査ヲ受ケ且全所ノ尋問ニ
 返答スベキ

一 郵便局ニテ込括人差出スベキ旨申函ケナバ正レキ
 人ヲ撰ミテ差出スベシ
 一 受取人ハ代人ニテモ訖レカラズ但レ其代人某へ渡
 スベキ旨ノ書面ヲ差出し且本人同様其尋問ニ返答
 セシムベシ
 一 受取人ハ盲啞ハ勿論無筆ノモノナラバ代筆証人ヲ
 立テベキ
 ○ 明治九年郵便規則ノ略但レ國內
 一 書状目方二匁以下二匁マデ二錢〇全二匁以上四匁
 マデ四錢〇全四匁以上六匁マデ六錢

以上皆右ノ割合ヲ以テ目方二匁マデ毎ニ二錢宛ヲ
 増シハラフベシ
 一新刊紙并ニ定時刊行物 定時刊行物トハ毎月期一
 ノ目方十六匁マデハ一錢〇二号以上一練ノ片ハ目
 方十六匁マデ毎及ビ一号目方十六匁ニ過ガルモノ
 ハ一号毎ニ二錢〇二号以上一練ノ片ハ目方十六匁
 以上三十二匁マデ四錢
 以上皆右ノ割合ヲ以テ目方十六匁マデ毎ニ二錢宛
 ヲ増シ拂フベシ
 一書籍并ニ見本目方八匁以下八匁マデ二錢〇全八匁

以上十六匁マデ四錢〇全十六匁以上廿四匁マデ六
 錢
 以上皆右ノ割合ヲ以テ目方八匁マデ毎ニ二錢宛ヲ
 増シ拂フベシ
 一右何レモ一市内限リノ往復ハ右定税半減ノ一
 端書封皮ハ一市内ハ半錢全國ハ一錢
 一別領達郵便東京ハ朱引内外ニ拘ハラズ六錢〇京都
 大坂ハ洛府内外ニ拘ハラズ四錢〇一等郵便局ノア
 ル地ハ三錢〇一等以下郵便局アル地ハ二錢
 一郵便局ノナキ地ハ差出ス郵便物ハ右割合ノ外目方

〇キ

ニ拘ハラズ一封印或ハ一箇ニ付一錢宛ノ増税ヲ拂フ
 ベシ○郵便局ノ地名ハ明治九年ノ郵便規則ニテ辨
 知スベシ
 一若シ書状ヲ出ス方ニテ郵便税ヲ前拂致サマルカ或
 ハ税ニ不足アレバ其二倍ヲ受取人ヨリ拂フベシ
 但シ本文先拂税等届先ニテ故意ヲ以テ拂ハズ再
 ビ受取人差遣スルハ三倍若シ再三ニナルルハ其
 都度毎ニ不足税ノ二倍宛増税ヲ拂ハシム此ノ如
 クスル一五度ヲ過テ拂ハザルルハ廿四以内ノ罰
 金ニ處セラルベシ

一先拂税并ニ不足税トモ届先ニテ受取ルハ郵便切手
 ヲ張付朱ニテ消シ置クニヨリ之ヲ目當ニ拂フベシ
 一大切ナル郵便物ハ定税ノ外一封印或ハ一箇ニツキ六
 錢ヅノ手数料ヲ拂フベシコレヲ書留郵便ト云フ
 一郵便局ヲ經ザル書状ヲ私カニ賃銭ヲ受取り送配
 達イタス者ハ二百四ノ罰金又送配達イタサスル
 者モ廿四以内ノ罰金
 一貨幣ヲ私ニ書中ニ封シ入ル者ハ廿四以内ノ罰金
 一郵便切手ノ面オガ封皮ノ印面ニ聊ニテモ汚レ墨
 付ホアレバ正レキ者ト見認ザルナリ

○隱居家者。務方向合之文

附相續人。一地所讓渡後

地券書替。於想見

築楮素。啓晨昏。追

氣及指進。少更典居。後

休祥。素者。有。一。度。生。務。生。

采。既。過。還。曆。世。務。勉。

勵。其。意。固。之。以。度。家。計。

百。般。取。以。一。讓。年。一。家。名。

亦。務。力。攻。度。以。就。其。向。後。

控前通り不承渡り候
被承下程事お願
此利益を寄附を
得られ右隣店家母
諸般振起に後人の
御礼

渡り諸件一向不承由
糸悲編と云ふ事
常度を新と石
○
縁翰持補は惠瑞の
オシテガキヲガニヨオホセ

新著 冷氣 暮券の 受感
 廓 着 隆昌 行 啓
 一般 清 眞 甚 様 西 家
 緒 水 角 後 貴 體 以 徳 梅 上
 為 朱 以 隆 累 年 一 中 初 考

此 貫 徹 豁 然 以 怡 愉 一 出 儀
 寶 竹 美 次 一 一 一 一 一 一 一
 令 郎 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 質 旦 以 庭 初 一 一 一 一 一 一 一
 居 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

十四

地球を振るゝ少くやを御察
小附を以て輕便に魚脯を
臺をおをゝて以て此に納め下
符系此垂間を以て右を
屋敷りつゝも容易に事

此を依りて右を御
置て為る此間持時
家来下共を以て
程の家来後地券を
儀を付す者達を以て

〇

是亦略記はり方也必也

と申す

一 士族等其を隠居家督後一及有申
 一 在るお思あらしを平民と隠居家督
 一 指合をすくひありの申すヨリ候

一 義士族等其を隠居家督後一及有申
 一 在るお思あらしを平民と隠居家督
 一 指合をすくひありの申すヨリ候

○太政官第百五十二号

一家督相続或ハ贈遺ハニ由テ地所ヲ譲リ受ルルハ
 地券書替小ノ手續左ノ通り

第一條 生存ニテ家督相続ニヨリ總テノ贈遺ハ親族
 他人ニ拘ハラズ譲リ受タル地所ハ其地券ノ書替ヲ
 申受ケザルモノハ本年第百六号ノ布達ニ由リ

致スベキコト

第二條 死亡ノ者跡家督相続ニ由テ譲リ受タル地所
ハ譲リ受ケタル日ヨリ滿六ヶ月ヲスギテ右券地替
ヲ申受ケザルモノハ地券書替印稅五倍ノ科金ヲ
取立ニ相ナル

右ノ由テ遠方ノ家督を承継
速に地券書替印稅を納付
申付候旨を以て
承継人ノ姓名
住所
年月日
何ノ誰
何ノ誰
地方長官宛

地券書替願

表書ノ地所今般忒誰ノ家
督相続カ致シニ付譲リワタシ
申ノ間以後同人所持イタレシ
付ニハ地券書替印稅下
度依テ連印ヲ以此段奉願也

年月日

何ノ誰
何ノ誰

地方長官宛

先大略上の如く地券
裏面へお慰メ戸長
申付候旨を以て
奥書に記しおるに
地券書替印稅を納
付候旨を以て
承継人ノ姓名
住所
年月日
何ノ誰
何ノ誰
地方長官宛

○漢草文庫書籍借歸規則
之文并借歸規則
短冊様陳列
見臺起店
法清通不
著者
ヨロコビ

漢州文庫
和漢洋
書籍借歸規則
宗旨
漢書
分
マツレキ

依^ヨる^ル兩^ニ三^ニ日^ノ中^ノに^ハ水^ノ閣^ノ際^ノに^ハ
り^テ右^ノ書^ノ廣^クく^シ水^ノ田^ノり^テ書^ク不^レ
生^シ儀^トも^シお^シ見^ルて^ハ想^ヒ別^ニ書^ク不^レ
案^内に^ハ宛^テ書^ク水^ノ田^ノり^テ書^ク不^レ
水^ノ田^ノり^テ書^ク不^レ
水^ノ田^ノり^テ書^ク不^レ

○同返事

惠^ニ教^スし^テ趣^ニお^シ承^ルけ^テ謝^スる^文
庫^ニ典^ノ籍^ノ借^ル借^ル儀^トも^シ水^ノ田^ノり^テ書^ク不^レ
と^モ承^ルけ^テ書^ク不^レ
と^モ承^ルけ^テ書^ク不^レ
と^モ承^ルけ^テ書^ク不^レ

浅草文庫書籍借覽人心得方規則
 一 浅草文庫中諸典籍ヲ借覽望ノ者ハ男女ヲ論マズ午
 前第ハ時ヨリ四時マデ來觀ヲ許ス
 一 來觀スルモノハ一日ニ金一錢ヲ借覽料トシテ收ム
 ベシ
 一 三ヶ月以上借覽スルモノハ一日七厘六ヶ月以上借
 覽スル者ハ一日五厘ノ割ニテ借覽料目的期限迄ノ

浅草文庫
 借覽料
 一 金一錢
 一 五厘ノ割
 一 三ヶ月以上
 一 七厘六ヶ月以上

○浅草文庫書籍借覽人心得方規則

一 浅草文庫中諸典籍ヲ借覽望ノ者ハ男女ヲ論マズ午

前第ハ時ヨリ四時マデ來觀ヲ許ス

一 來觀スルモノハ一日ニ金一錢ヲ借覽料トシテ收ム

ベシ

一 三ヶ月以上借覽スルモノハ一日七厘六ヶ月以上借

覽スル者ハ一日五厘ノ割ニテ借覽料目的期限迄ノ

一 金額ヲ收ムベシ其節右ノ受取証書ヲワタスベシ
 一 公務ヲ以テ借覽スルモノハ其官廳ノ副書ヲ持參ス
 一 借覽料ハ收ムルニ及バズ
 一 博物本館設立マデ古書画ノ類モ當分此文庫ニテ借
 覽ヲ許ス
 一 大祭祝日ヲ除クノ外ハ一月八日ヨリ十二月廿八日
 マデ毎日來觀ヲユルス
 但シ臨時休ノ節ハ其旨門外ヘ揭示スベシ
 一 書籍ハスベテ門外ニ出スヲ禁ズ若シ官省ノ用ニ
 供センタメ門外ニ出スヲ要スル片ハ更ニ副本ヲ

作リ其需メニ応スベシ
 一 書籍出納ハ必ズ文庫中ノ規則ニ従フベシ其他諸則
 ハ官負ニ就テ審問スベシ
 一 借覽席ニ於テ發聲讀誦スルト雜談スルトヲ禁ズ但
 シ園中ノ遊歩ハ随意タルベシ
 一 借覽席ヘ飲食物ヲ携フルヲ并ニ吸烟ヲ禁ズ
 ○ 陸軍士官学校ニ學ビ
 教導團入校教員長問合

のぶん
まこと

孝簡華亭高仕小町ら日露
晴石五定之霜相減ハ解後指
進マ交震良少清福嘉
情々々々々々々々々々儀

兼右陸軍士官学校入学
修宿務羅生少交少度
生徒西徴券五朱ノ頃孝
入校後度ノ間少子朱五ノ
少々少々少々少々少々少

大略并之形素之手蹟書
此邦知上之度世併出程
より内外之西氣務格升也
多端之受實之毒心之
存心海之高山深淵之

廣厚情之以教音必入校
願之書式之并世之
示之淑之極依之
惺惺領首
○回春

芳東披見 オテガミヒラキエル 米来倚寔氣日 ミライヨクサキヒ
相券少更起 オハフツクイ 在出安 マヨ 康 ヤス
車突、叔士安 ガク 学校入 マシ 学 ガク
之右 シヨク 屋 ウチ 之 ノ 概 カク 則 ネ 年 ネン 数 スウ 考 コウ 之 ノ 概 カク 以 イ 向 コウ
アテマシキソク ト シ コ ロ

令 オノセ 之 ノ 位 イ お オ 係 ヘイ 仕 シ 任 ニン 者 シャ 之 ノ 明 メイ
治 チ 九 ク 年 ネン 之 ノ 布 フ 告 コウ 之 ノ 佈 フ 告 コウ 之 ノ 佈 フ 告 コウ
善 ゼン 士 シ 族 シツ 平 ヘイ 民 ミン 之 ノ 志 シ 願 ガン 之 ノ 若 ニク
クワツク サムラヒ ヒラノヒト コノロガシネカフ
年 ネン 齡 レイ 之 ノ 二 ニ 十 ジュウ 二 ニ 集 シツ 之 ノ 十 ジュウ
六 ロク 才 サイ 以 イ 上 ジョウ 檢 ケン 閱 エン 之 ノ 法 ホウ 之 ノ 年 ネン 齡 レイ
ヨリウハ シラバ シカタ

身禮おまじの長の文
学業術外国学小科目
申事あり尤細目法則
考精確儀を存し中
考の形を以て難方を在

撮記所置て條を以て知
有て度先を右の四者
有る一
但身の在る曲尺は其
以て者申事あり

士官學校入学願

何地何族平民か
誰ニ何子弟
何地住方寄苗カ
何ノ誰
年レイ

右ノ者此度士官學校へ入学奉願
向ニ検査ノ上ニ採用被下度入校
ノ上ハ規則嚴重ニ相守ラテ可申且
當人身元ノ後ハ何事ニヨリ私共引受
可任依テ此段奉願上レ以上

身元引受人何地何族
何地住
年月日
連名印

陸軍士官學校長官宛
前書ノ通相違無之也
何府縣長官姓名印

士官學校入学小奥書願

上下同シ
全シ
何ノ誰
年レイ

右ノ者此度士官學校へ入学奉
願向ニ検査ノ上ニ採用被成
ハ規則嚴重ニ相守向ニ奥
書被成下ノ様奉願以上

身元引受人
年月日
連名印

地方廳長官宛

教導團入学願

何国何郡何縣何村産
何府縣族籍
何国何郡何村住居
何府縣族籍

右ノ者此度教導團入学奉願向
ニ検査ノ上ニ採用被下度固ヨリ入團
ノ上ハ規則嚴重ニ相守可申且
當人身ノ上ノ後ハ何事ニヨリ私共引受
可任依テ此段奉願上レ以上

身元引受人
何地住籍
年月日
姓名印

教導團課長宛

何大區何小區...町...番地

何府縣族籍
何ノ誰

右ノ者今般教導團へ入学相願
付テ獨子獨孫或ハ家事擔當ノ
者ニ無シ坐向修行中ハ勿論下土
拜命ノ後服役期限中決テ家事
故障ホニテ苦情申立マシク此段重
也

右保証人
何...地
年月日
何ノ誰印

地方長官宛

以上も用紙のみの旨を
 二通を地方へ送る事
 出さあり下へ載せる事
 面を美濃紙とす
 そとより一は紙
 中へ一とあり下へ地方
 へより直ぐを向へ
 傳達を来るルノ事あり

記
 今般教導團入学志願ニ付キ
 別紙ノ願書差出し向中試験
 上其筋へ申立被成下様奉願
 上小也
 何大区ノ地
 年月日
 姓名印
 地方長官宛

○ 徴兵免役ノ概則向合ニ
 并代人料より一方ニ書式
 最寒然ノ作令
 寧静を多折ノ
 男其儀本年を徴兵ニ
 〇 八十七

難より尚りゆ受は近佛學
修行力致主以法律學研
究死と交性情と惑溺致す
居る有守修むや進挿す
根子と交半途とて廢業

為教のも殊念を至り止す
何れ國家の法を以て固し
強名可辭儀を善く修む
若し其を從來の學科を
添致し上拓むる事あり

為盡度就之免役之手
イタイノヤクヲユルサレ
 續之由心言之由之由
 垂教之由之由
フシハクダサ
 情甜之由之由
イヌカハナカリ
 之者之由之由
イヌカハナカリ
 之者之由之由
イヌカハナカリ

其悲惶不聲
フシハクダサ

答之文章
ツキズ

其章其補其寒其稟
オテガミ
 其信其康其素其作
ハナ
 其男其事其茲其其
ヘイタイニナル

去年^{ごせん} 勤^{まじめ} 附^{つきて} らし^し 出^い 迄^{まで} 琢^{たく} 磨^ま せ
学^{がく} 課^か 廢^{はい} 絶^{ぜつ} 以^い 貴^き 慥^{たつ} 然^{ぜん} 免^{めん}
級^{きゅう} 以^い 同^{どう} 台^{たい} 之^し 能^ね 承^{しょう} 負^ふ け
尤^い 其^{その} 激^{げき} を 所^{ところ} へ 尚^{なほ} 且^{かつ} 之^し 辭^{ことば} 退^{たい}
之^{これ} 乃^{すなは} 其^{その} 之^{これ} 勿^{なほ} 論^{ろん} 必^{かならず} 保^{たも} ち

茶^{ちや} 之^{これ} 山^{さん} を 滑^{なめ} ぎ 亦^{また} の 事^{こと} 情^{じやう} 有^あ り
之^{これ} 以^い 対^{たい} せ 代^{だい} 人^{にん} 料^{りやう} 以^い 事^{こと} 出^い 出^い 衆^{しゆ}
之^{これ} 以^い 免^{めん} 役^{やく} 之^{これ} 以^い 激^{げき} 之^{これ} 以^い 生^{せい} 也^{なり}
其^{その} 曲^{きよく} 之^{これ} 以^い 存^{ぞん} 之^{これ} 以^い 中^{ちゆう} 之^{これ} 以^い 征^{てい} 其^{その} 令^{れい}
中^{ちゆう} 揭^{けつ} 載^{さい} 之^{これ} 以^い 所^{ところ} 之^{これ} 以^い 免^{めん} 役^{やく} 之^{これ} 以^い 一^{いつ}

章シヤウ拔ハツ革カク没モツ了リウ昇シヤウ了リウ尤トウ以イ人ジン料リウ
シヤウ上納シヤウノウ之ノ方ホウ法ホウ以イ知チ已マ某カク氏シ之ノ何ナニ
シヤウ在ゼ之ノ間カミ亦モ見ミ合カフ之ノたタめメ也ヤ
シヤウ州シヤウ案アン亦モ見ミ一イツ之ノ中チュウ以イ家カ及キツ
シヤウ不フ并ヘイ持チ名ナ中チュウ之ノ合カフ乎ヤ也ヤ
シヤウ州シヤウ案アン亦モ見ミ一イツ之ノ中チュウ以イ家カ及キツ
シヤウ不フ并ヘイ持チ名ナ中チュウ之ノ合カフ乎ヤ也ヤ

字ジ一イツあア通ツウ一イツ座ザ五ゴ尺シツ中チュウ也ヤ
 難ナンくク以イ志シ者シャ不フ得トク也ヤ

○徴兵令ノ内第三章常備兵免役概則

第一条 身ノ丈シタ(曲尺)五尺ニミタザル者ノ第二条
 羸弱ニシテ持病モチ又ハ坏具等ニテ兵トナリガタ
 キ者ノ第三条 院省使府縣ニ奉職セル者但等外ニ
 テモ此例ニ准バ○第四条 陸軍生徒○第五条 文
 部工部開拓其外ノ公塾ニテ学ビタル専門生徒又ハ

洋行シテ修業セシ者并ニ医術馬医術ヲ学ブ者教導ノ試補トナレルモノ但教官ノ証書并ニ何等科目ノ免許書アル者○科目ノ等未ダ定ラザル者○第六条一家ノ主人タル者○第七条 嗣子并ニ孫祖ノ孫但シ養子約束ノミニテ未ダ実家等アルモノハ此例ニ非ズ○第八条 獨子獨孫○第九条 罪科アルモノ但除族并ニ懲役実決一年以上ノ刑ヲ蒙リタルモノ○第十条 父兄存在ストモ病氣モシクハ度故アリテ父兄ニカハリテ家ヲ治ムルモノ○第十一条 常備兵ノ役ニツキタル兄弟

陸軍徴兵代人願

私我男唯儀當年我才ニ相成リ服役可仕苦ノ処家事差支ヘ有之ニ付代人料金二百七十圓上納仕間何事常備後備兩軍共ニ差除キ被下度素願以上

年月日

何処身余何ノ誰○

陸軍徴兵署中

前書願出ノ通相違事以上

年月日

何処戸長何ノ誰○

此見ニモ一ノ様々
 以テ知シ何ノ誰
 儀ニ是モ事ニ条
 件ニ知テ度居
 石古山同合者
 度ノ事アリ

○代理人委任状書式同旨
又附新社用筆紙

概則

鄰楮お啓下百寒歳凌
種九の交郵履出請
イヤシキテガミ
ラガミマラシ
イマシ
ゴカンキ
タイ
コキゲンヨク

車行券を能く苗を以て
中と置り一條を般以て
公裁を仰ぎ小人得て受
るは以て其れを以て
費し何分勝とありて

高たか分ぶんの内うち身み自身じしん出しゅつ頭とう
難なん友ゆう然ぜん備び見けん成せい程てい
まま般はん度ど得とく保ほ下げ下げ可か
孔こう音おん至し少しょう年ねん程てい系けい系けい委い
任にん状じょう下げ方ほう不ふ心しん得とく付つ
セジヤヤヤ

州しゅう福ふく水すい一いつ下げ下げ角かく舟ふね孔こう
朱しゆ末まつ思し女にょ心しん至し少しょう年ねん申しん度ど先せん
右みぎ款かん入い心しん近ちか女にょ心しん下げ下げ
正せい框くわう中ちゆう
同どう等てう
ヨソル

此手曾お厚ぬる荷也
令嚴寒有貴體
春初趣折角也
厚子長ま一な荷扱ふ
事件親を

此度出所このお米
付通生代理仕程の旨
家海は且又委任状
神裁の商合に候是
知作右を極し申熟
ヨクゴソソシ

可存し得る者たる關係は
 規別その他新法
 用運賃を概するが爲す
 記しる事なり
 復つらきこと
 向條

旁と昇定仕を存する
 の手紙を申服する
 及び

○代人規則ノ略

一凡ソ何人ニ限ラズ已レノ名義ヲ以テ他人ヲシテ事
 ヲ代理セシムルノ權アルベシ
 一凡代人ハ心術必スニシテ廿一歳以上ノ者タルベシ